

次世代型CPRトレーニングシステム



レサシアン スキルステーション

ガイドライン2005の発表以来、質の高いCPRは蘇生を行う全ての人々にとって重要となりました。

しかしCPRの質を維持するためのトレーニングには、人材・機材の両面で大きなコストがかかります。

レサシアン スキルステーションは、トレーニングの実施から修了証の発行までを自動化します。受講者はリアルタイム音声によるフィードバックを元にスキルを磨き、テストに合格すると修了証が発行されます。



Laerdal
helping save lives

トレーニングの流れ



システムの特長

- 1回のトレーニングは30～40分程度で完了できるため、1,000人を超えるような多人数の教育を効果的に運営できるようになります。
- CPRのパフォーマンス(回数、早さ、量、深さ、圧迫中断時間など)を自動計測し、客観的な音声フィードバックで適正なスキルの習得が出来るよう誘導します。
- 従来の講習方式では、受講者やインストラクターの人的コストがコース全体の75%を占めていると報告されています。レサシアン スキルステーションによる自己学習方式の活用で、より短時間でCPRを学ぶことができ、同時にインストラクターがトレーニング全てに立ち会う必要もなくなります。
- 自己学習システムのため、受講者は自分の都合に合わせてトレーニングを実施できます。
- 音声フィードバックや評価の難易度、そして修了証のデザインなどを自由にカスタマイズ可能です。

The need is more time-efficient solutions, as paid working hours today account for 80% of costs of training and retraining



*Wu et al (2011), Resuscitation, "An Automated Voice-Activated Manikin System for Training in Basic Life Support without an Instructor: A Novel Approach to CPR Training"

ご説明・デモは最寄りのレールダル営業所までお問い合わせください